

坂出市教育委員会点検・評価報告書  
(令和2年度事業)

令和3年7月15日  
坂出市教育委員会



## I. 目的及び制度の概要

教育行政の効果的推進と市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行うものであり、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表するものです。

## II. 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、個々の施策、事業ごとの実施状況及び成果を明らかにするとともに、令和2年度事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で、従来どおりの事業実施ができなかったことを踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策として実施したものや、様々な工夫をして実施できた事業も含めて自己評価を行いました。

点検・評価の客観性を確保するため、「坂出市教育評価委員会」を令和3年7月15日に開催し、教育に関し学識経験を有する委員の方々にご意見、ご助言をいただきました。

### 坂出市教育評価委員会

委員長	有馬	道久
委員	國重	博子
委員	宮下	良造
委員	中井	直樹

## III. 教育委員会活動の概要

坂出市教育委員会では、主体的で市民に信頼され開かれた教育委員会を目指し、令和2年度において以下の活動を行いました。

### 1. 委員構成

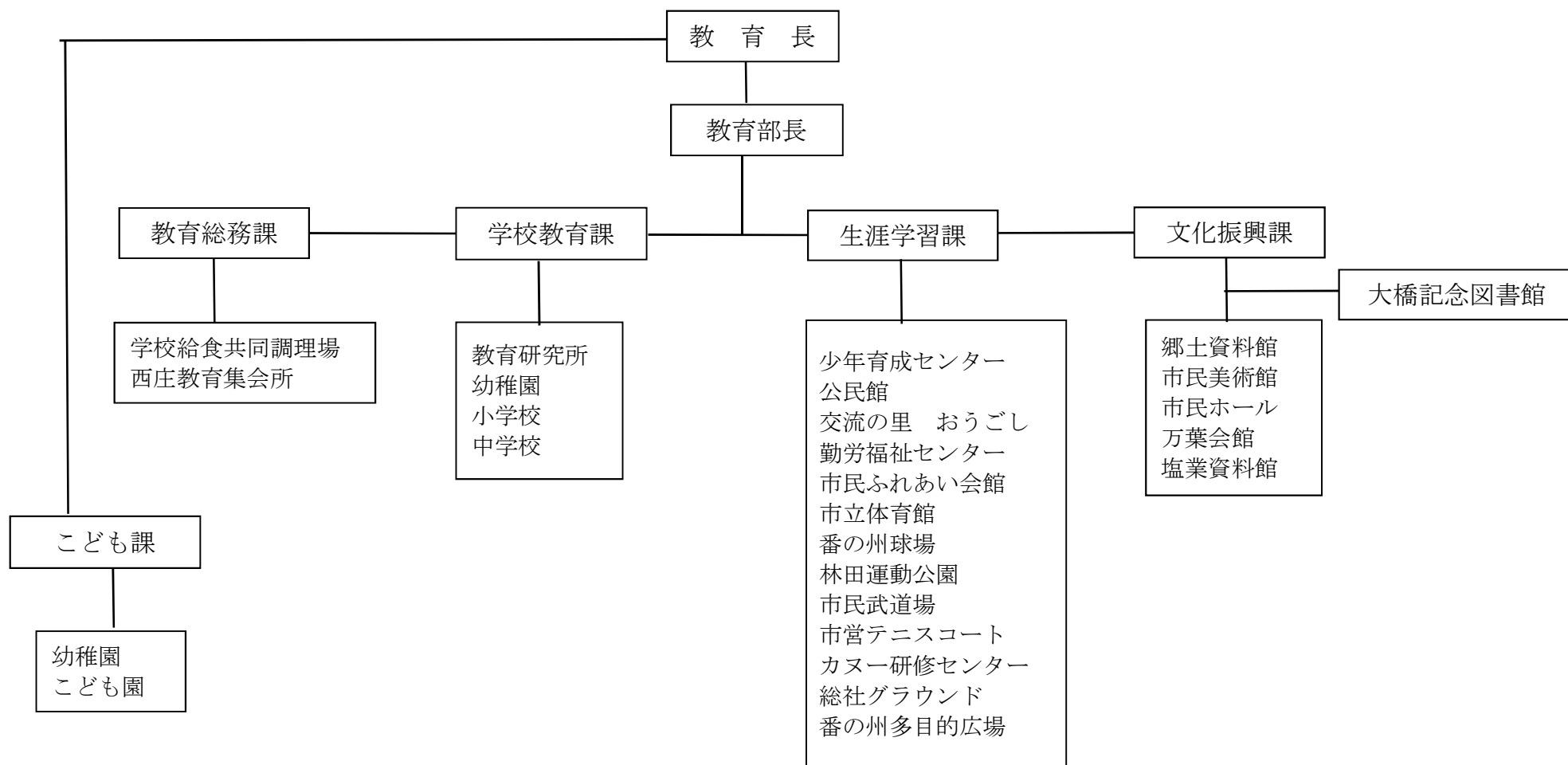
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携強化とともに、地方に対する国の関与の見直しを図る制度の抜本的な改革として改正されました。教育長は従来、教育委員の中より教育委員会によって任命されていましたが、新制度では市長が議会の同意を得て任命されることとなります。

教育委員会は、教育長と4名の教育委員をもって組織されており、令和3年3月31日現在の委員構成は次のとおりです。

### 坂出市教育委員会

教育長 國重 英二，委員 小川 幸彦，委員 古田 桂子，委員 漆原 恵子，委員 山地 誠治

## 2. 教育委員会事務局の組織図



## 3. 教育委員会会議の開催状況

会議は、原則として毎月1回定例会を、また必要に応じて臨時会を開催しており、令和2年度は合計14回開催いたしました。

教育委員会定例会	12回開催	議案34件	報告62件
教育委員会臨時会	2回開催	議案 3件	

#### 4. 総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成27年4月1日から施行されたことに伴い、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るため、同法第1条の4の規定に基づき、市長が設置するもので、協議・調整する項目は以下の点があげられます。

1. 地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定
  2. 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
  3. 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置
- また、総合教育会議は、市長と教育委員によって構成され、地方公共団体の長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議・調整の場であり、総合教育会議自体は執行機関ではないものとして位置づけられています。

実施日	議 題
10月7日	小学校におけるICT教育・環境について（授業視察）
12月24日	令和3年度教育予算について

#### 5. 教育委員会のその他の活動

##### ①要請訪問

市立幼稚園5園、市立こども園1園、小学校10校、中学校5校をすべて訪問。

##### ②香川県市町教育委員会連絡協議会委員研修会

日 時 令和2年10月1日  
場 所 香川県庁本館12階第1・2会議室(高松市)  
出席者 教育長・教育委員1名  
研修内容 ・教職員の働き方改革推進状況調査結果について  
・「休日まとめ取り」のための1年単位の变形労働時間制

##### ③市町教育行政意見交換会

日 時 令和2年7月28日  
場 所 県坂出合同庁舎6階会議室（坂出市江尻町）  
出席者 教育長・教育委員1名

#### IV. 事業の点検と評価の結果

次ページ以降に、教育大綱に基づく具体的施策の取組状況の点検と、評価対象については委員評価を掲載しています。

##### ●各課による自己評価基準

区分	評価内容
A	計画が達成できた。
B	やや問題も残るが、概ね達成できた。
C	課題を残し、目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く、具体的成果がなかった。

##### ●評価委員による評価基準

区分	評価内容
S	目標達成以上の効果があった。
A	計画が達成できた。
B	やや問題も残るが、概ね達成できた。
C	課題を残し、目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く、具体的成果がなかった。

# 坂出市教育大綱

## 基本理念

### 未来を拓く力をはぐくむ人づくり

## 基本目標・基本施策

#### I 生きる力をはぐくむ教育の充実

1. 確かな学力の育成
2. 豊かな心の育成
3. 健やかでたくましい体の育成
4. 特別支援教育の充実
5. 人権・同和教育の推進
6. 幼児教育の充実

#### II 夢に向かって挑戦する教育の充実

1. 志をはぐくむ教育の充実
2. グローバル社会に対応した教育の推進

#### III ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

1. 郷土を愛する心をはぐくむ学習の充実
2. 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

#### IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

1. 保護者・地域に開かれた学校づくり
2. 教職員の資質向上のための研修の充実
3. 安心できる子育て支援環境の整備
4. 魅力ある学校施設の整備充実

#### V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

1. 生涯学習のまちづくりの推進
2. 家庭や地域における教育力向上のための支援
3. スポーツの推進

#### VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

1. 文化芸術の振興
2. 文化財の保護





## I 生きる力をはぐくむ教育の充実

### ① 確かな学力の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
1	基礎・基本の定着と学力の向上	学校教育課	外部人材の有効な活用を図ることで学習意欲を喚起し、学び続ける態度を養う。	①外国語指導助手 ネイティブを指導助手として市内全小中学校に配置。小学校外国語、外国語活動、中学校英語の授業にネイティブを指導助手として市内全小学校3, 4, 5, 6年生全学級に月2h, 市内全中学校全学級に月1h配置。 ②理科観察実験アシスタント 3年生以上の理科の実験用具の準備, 理科室の整備等, 理科の授業を充実するため, 小学校8校に理科観察実験アシスタントを配置 (のべ450h)	平成19年度	
2	さかいでスクールサポートティーチャー派遣事業	学校教育課	経験豊かな退職教員を登録し, 学校からの要請に応じて派遣することにより, 坂出市立小中学校の学校教育活動のサポートを行い, 児童生徒一人一人の学力等の向上に資する。	県内の公立小中学校において, 教員として10年以上の勤務経験を有し, 教育に熱意を有する退職教員を募り, 適当と認められる者を登録し, 学校からの要請により派遣する。 退職教員は, 小中学校において, 派遣先小中学校長の指導のもと, 学校経営課題 (学力向上, 個別指導, 生徒指導対応, 教員の指導力向上など)を解決するための指導・支援の活動を行う。 退職教員の派遣については, 1回当たり4時間以内とする。(令和2年度 のべ1958h)	平成30年度	

### ② 豊かな心の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
3	問題行動への対策 (人格形成と規範意識の涵養)	学校教育課	不登校, いじめ, 暴力行為等の問題行動や虐待, 体罰の未然防止や早期発見, 早期対応を図る。	・市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置し, 小中が連携して, 児童生徒, 保護者, 教員の教育相談を行うことで, 不登校における対応の充実を図る。また, 市内中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し, 児童生徒のおかれた様々な環境に働きかけて支援を行う。 ・いじめについては, 定期的なアンケート実施と, 教員による観察を強化し, 未然防止に努める。また, 坂出市いじめ問題等対策連絡協議会において策定された「坂出市いじめ防止基本方針」に基づいて, いじめを積極的に認知し, 適切に対処するよう指導している。 ・虐待については早期発見とともに, 関係機関との連携により早期対応を図る。	平成12年度	○ P27

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
4	人的支援体制の充実	学校教育課	生徒指導や学校への登校に対し配慮を要する，一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い，学校生活の安定を図る。	<p>①生徒指導補助員 中学生の暴力行為の未然防止，早期発見・早期対応のために，坂出中，東部中，白峰中に各1名の生徒指導補助員を配置</p> <p>②不登校対策教育支援センター 坂出中学校に「ふれあいの部屋」，白峰中学校に「であいの部屋」を置き，3名の職員を配置</p>	<p>①平成19年度</p> <p>②平成16年度</p>	

### ③ 健やかでたくましい体の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
5	小児生活習慣病対策事業	学校教育課	近年，増加傾向にある小児期の肥満および肥満に起因する生活習慣病の早期発見および予防を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内市立小学校4年生，中学校1年生の全児童生徒を対象に，小児生活習慣病予防健診の血液検査を実施し，当該検査結果を保護者および学校に通知することで児童生徒の生活習慣の見直しおよび改善指導に結びつけていく。令和元年度より小学校4年生時の結果と中学校1年生時の結果を突合し，改善状況を把握する。</li> <li>・坂出市小児生活習慣病予防対策委員会を年2回開催し，事前の効果的な啓発資料の作成，血液検査実施および事後の個別指導の内容，検査結果の分析，プライバシーの保護などの解決方を協議する。</li> </ul>	<p>平成24年度 (小学4年生)</p> <p>令和元年度 (中学1年生)</p>	

④ 特別支援教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
6	特別支援教育支援員の拡充	学校教育課	特別に支援を要する一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定と学習・生活両面の基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級及び通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置している。</li> <li>・特別支援教育支援員研修会を幼稚園・小学校・中学校合同で年間2回実施し、発達障がいの状態を踏まえた支援に関する理解が進むよう取り組んでいる。</li> </ul>	平成19年度	
		こども課	特別な支援が必要な幼児一人一人の特性や障がいに応じた支援を行い、その発達を助長する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各幼稚園に在籍する特別な支援を要する幼児の特性や障がいの状態に応じ、特別支援教育支援員の配置をしている。</li> <li>・コロナ感染防止の影響で集合による研修会が8月31日、1回の開催となった。県教育委員会特別支援教育課より講師を招請し、特別支援教育の専門性を高める研修と月例報告の支援記録を通して、幼児理解を深めるとともに情報交換をした。</li> </ul>	平成19年度	

⑤ 人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
7	坂出市小・中学校児童・生徒 私の考えを語る会	学校教育課	①坂出市小・中学校児童・生徒 私の考えを語る会 市内小中学校の児童・生徒の意見発表の機会を設け交流を図りつつ、人権尊重意識の高揚を目指すことを目的とする。	<p>①身近な生活体験を通して、人権あるいは人間の生き方に関する意見を、児童生徒が1題6分以内で発表する。発表校は、中学校3校、小学校5校、友情発表（綾歌郡中学校）1校である。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場での開催は中止としたが、各校の発表をDVDに収録し、市内全小中学校、関係機関等に冊子とともに配布した。</p> <p>②「私の考えを語る会」の開催当日と「人権週間」に合わせて、市合同庁舎玄関（R2年会場変更）において市内全幼小中学校園、特別支援学校および市内4高校（賛助）の作品を展示する。</p>	①昭和56年度	
	坂出市幼小中幼児・児童・生徒の人権展覧会		②坂出市幼小中幼児・児童・生徒の人権展覧会 市内幼小中の幼児・児童・生徒の人権展覧会を開催し、人権尊重教育の成果を示すことで人権尊重の市民啓発を図ることを目的とする。		②昭和61年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
8	人権・同和教育だより PTA人権・同和教育研修会	学校教育課	①人権・同和教育だより 坂出綾歌ブロックにおける住民を対象に、人権意識の向上を目的として実施する。 ②PTA人権・同和教育研修会 PTAが中心となって人権・同和研修を企画し、保護者参観日に合わせて講演会・研修会を行うことで人権・同和教育に関する啓発を図ることを目的とする。	①坂出市・宇多津町・綾川町の1市2町の人権・同和教育担当者、教員等により内容および構成を検討する。本市においては、12月広報とともに全戸配布している。 ②坂出市立学校の各校とPTAが協力し、保護者を対象とした人権研修会を企画・実施している。少しでも多くの参加を得られるようPTAおよび各学校で創意工夫をこらしている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止になる学校もあり、実施校は8校であり、総計1124名が研修会に参加した。	①昭和51年度以前より発行	
9	坂出市同和地区教育連絡協議会 幼小中人権・同和教育研究事業	学校教育課	①坂出市同和地区教育連絡協議会 同和地区における幼児・児童・生徒の教育水準の向上を図ることを目的とする。 ②幼小中人権・同和教育研究事業 幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任その他の教職員を対象とし、人権・同和教育に関する研究を深めることを目的とする。	①同和地区における幼児・児童・生徒の学習活動の推進に関し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校が校種の垣根を越えて連携を図る。 ②幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任等を対象に年2回の現地研修、講演、授業・保育研究、各校園の情報交換等を実施する。	①昭和56年度 ②昭和39年度	

## ⑥ 幼児教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
10	絵本に親しみ豊かな心をはぐくむ取組	こども課	幼児期から絵本やお話に親しむことの大切さについて幼稚園や家庭に啓発し、生涯にわたっての学習の基盤となる主体性や想像力、知的好奇心や言葉による表現力をはぐくむ。	幼児が絵本やお話に親しむ環境づくりを充実させ、豊かな心や思考力をはぐくむ取組としている。幼稚園や家庭において、絵本やお話に親しむことができるよう、教育課程や指導計画の中に位置付けるとともに、家庭への絵本の貸し出しについても充実できるように、幼児にとって興味・関心のある魅力的な絵本の充実に努めている。294千円で5園分。園児148名。	平成20年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
11	幼児ふれあい茶道教室 (文化的・情緒的な体験から心をはぐくむ)	こども課	故大石キヨ子先生の遺志を受け、幼稚園やこども園の5歳児が日本の伝統文化である茶道に親しみながら、作法や情操を養う。	令和2年度は、府中こども園5歳児22名が加わり第14回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスが感染拡大する状況のため、感染を予防する措置として開催を中止した。	平成19年度	
12	幼稚園・こども園評価の公表と保護者・地域との連携の工夫と改善(家庭や地域と連携した園づくり)	こども課	保護者や地域との連携を図りながら、地域社会に開かれた信頼される園づくりに努める。教職員の自己評価や保護者や学校関係者評価委員による評価を活かし園経営の改善を行う。	家庭や地域との連携を密にできるよう園便り・学級便り等の発行や写真のパネル展示等により、日々の子どもの姿や保育の意図を保護者や地域に分かりやすく伝えられるよう工夫をしている。 公表の方法を「就学前の子どもの教育保育研究会」において情報交換を行いよりよい方法を交換し合っている。	平成21年度	
13	子ども発達支援事業(5歳児健康診査・巡回相談・幼保こ小連絡会)	こども課	幼児の健やかな成長や発達を促すとともに保護者が安心して子育てができるように、学校教育課・こども課・けんこう課が連携して、子育て支援の充実を図る。	① コロナ禍の折、実施については、県内市内の状況を見ながら判断をし、感染症対策をしながら実施していった。例年通り国公立・私立幼稚園・保育所・こども園へ健診スタッフが外向いていき、事前調査や行動観察及び個別健診を通して、子どもの発達の状態を把握して、そこから見えてきた発達の特性を踏まえ、保護者との面談を行い子育て支援を実施した。 ② 坂出市在住の健診受診対象者381名のうち375名が受診している。結果内訳は、気にならない262名、要経過観察(園・ことばの相談・こども相談)66名、二次健診(医師による健診)9名、関係機関につなぐ(新規・継続)38名。 ③ コロナ禍のため令和2年度の巡回相談は、幼稚園2名だった。子どもの発達や困り感に寄り添った支援の在り方について特別支援教育専門家の指導助言を各園の保育に生かしていった。 ④ 8月21日に幼保こ小の校區別連絡会を実施した。回数を重ねるごとに、子どもが必要とする支援について実情把握を充実させ情報を共有することで、切れ目のない支援体制づくりに取り組んだ。	平成24年度	○ P27

## II 夢に向かって挑戦する教育の充実

### ① 志をはぐくむ教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
14	さかいで-なかたど-あやうた算数・数学オリンピック	学校教育課	<p>①児童生徒の算数・数学に対する興味・関心を喚起し、学習意欲を高める。</p> <p>②考える楽しさを体験し、主体的に学ぼうとする態度を育成する。</p> <p>③既習の知識、技能を活用して問題を解決することで、思考力・表現力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会開催（年間1回：学識経験者、保護者、小中学校長会等）</li> <li>・問題作成委員会開催（年間2回：小中学校教員20名）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症感染防止のため開催を延期した。 オリンピック（計画：R2.7.26坂出中学校） 表彰式、解説の会（計画：R2.8.23勤労福祉センター）</li> </ul>	平成24年度	
15	心をはぐくむ講師派遣事業	学校教育課	<p>社会の様々な分野で活躍している著名人を学校に招いて講演会を開くことで、児童生徒がその生き方に学び、具体的な自分の夢や志を考えるきっかけとする。</p>	<p>市内3校に講師を派遣し、講演会等を開いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂出中学校 令和2年11月12日 プラウド香川副代表 高野 晶氏 講演</li> <li>・坂出小学校 令和2年11月14日 彫刻家 さとうゆうじ氏 講演、実技指導</li> <li>・西庄小学校 令和2年12月18日 ピアノ演奏家 白川 紗弓 ピアノコンサート</li> <li>・松山小学校 令和3年2月22日 カマタマーレ讃岐 講話、実技指導</li> </ul> <p>*中学校1校は、新型コロナウイルス感染症対応のため中止する</p>	平成24年度	



### Ⅲ ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

#### ① 郷土を愛する心をはぐくむ学習の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
16	ふるさと理解推進事業	学校教育課	豊かな自然や教育的・文化的な資源を活用して体験的な学習、探究的な学習を実施し、自分たちの住んでいる地域やふるさと坂出への愛着や誇りに思う心、郷土に貢献しようとする意欲や態度の育成に資する。	○ふるさと学習の推進及び体験的な学習の充実 身近な自然、歴史や文化、社会教育施設や人材などの地域の教育資源（ひと、もの、こと）や社会科副読本「ふるさと坂出」を活用した探究的な学習を進める。 コロナ禍ではあったが、身近な地域を対象とした教育活動や坂出市内の社会教育施設を活用した学習が展開できた。具体的には、坂出市塩業資料館、坂出市府中湖カヌー競技場などの活用がみられた。 しかし、特別活動や総合的な学習活動の時間を利用した探究活動、職場体験学習、ボランティア活動など多くは、自粛する結果となった。	平成26年度	

#### ② 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
17	家庭・地域との連携と啓発	学校教育課	子どもの基本的な生活習慣、規範意識、道徳性をはぐくむため、学校、家庭、地域の連携を推進するとともに、創意工夫に満ちた教育課程の編成にもとづいた特色ある学校・園づくりを進める。	園や学校の実情に応じて、保護者や地域関係者の連携・協働活動に基づいた教育活動を実践する。 ①保育・授業参観 1日または半日のフリー参観を実施（全幼小中）、教育活動への保護者参加の工夫は、コロナ禍のため分散方式によるものとなる。 ②広報活動 学校だより、学校ホームページの活用、メール配信等の実施により、コロナ禍での情報発信を頻繁に実施し、学校の取組の理解を図った。 ③「社会に開かれた教育課程」の編成 新学習指導要領の全面実施（小学校）、移行期（中学校）を踏まえた教育課程の編成 ④ 短縮した夏季休業期間の充実 コロナ禍のため、授業時間数確保のため、夏季休業期間をさらに短縮し、教育課程の充実を図った。		

#### IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

##### ① 保護者・地域に開かれた学校づくり

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
18	学校運営協議会設置事業	学校教育課	学校と地域住民や保護者等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」に転換する仕組みである学校運営協議会制度を導入し、地域の声を学校運営に生かし、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを推進する。	平成29年度、東部中学校、府中小学校を、さらに平成30年度は坂出小学校に学校運営協議会制度をの導入推進校（モデル校）に指定し実践研究を進めてきた。 その成果や課題を踏まえ、令和元年度、市内全小中学校を学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールとした。 各学校運営協議会は、校長が作成する学校運営の基本方針を基に学校運営について協議し、地域住民等の参画を得て地域学校協働活動を推進している。 具体的には、登下校の見守り活動、合同防災訓練、学校内外の環境整備活動などについて、活動組織のもと運営している。 設置後2年間の成果を実践事例集にまとめ、各学校運営協議会の活動を紹介する冊子を作成し、実践交流を図った。	平成29年度	○ P28
19	学校関係者評価委員会・学校経営支援委員会（信頼される学校づくり）	学校教育課	各学校の学校評価（自己評価と学校関係者評価）について、専門的、客観的立場から評価し、指導・助言を行うことで、各校の学校運営の充実に資する。	各学校で管理職等による校内評価委員会は「自己評価書」を作成し、保護者および学校関係者からなる学校関係者評価委員会に提出する。 学校関係者評価委員会での協議を基に学校が作成した「学校評価書」について、学校経営支援委員会を開き、学識経験者、保護者代表4名が第三者評価を行い、その助言・指導を各校の学校運営の充実に資する。	平成21年度	

##### ② 教職員の資質向上のための研修の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
20	教育研究所の研究・研修事業（信頼される学校づくり）	学校教育課	新学習指導要領の理念に則し、学校、その他教育関係機関との連携のもとに教育研究所の4部会において、理論・実践の両面から調査研究を推進し、本市教育の充実・発展と教員の資質・能力の向上に資する。	①学校人権・同和教育啓発資料作成部会 「人権・同和教育をすすめるために」研修資料作成 ②不登校・特別支援教育部会 人との絆を深め、自尊感情を高める支援の在り方を探る（フレンドシップ夏の集い、クリスマスの集い） ③学校教育課題部会 小学校プログラミング教育の在り方 ・必修化に伴うICT環境整備事業との連携と授業実践への備え（年間指導計画の作成、実践事例） ④若年教員研修部会 熟練教員の指導力を若年教員へ継承する「若い教師の研修会」の開催 ・共通研修 「ICT活用研修・実践発表」 ・校種別（小学校） 「小学校外国語活動の指導について」 ・校種別（中学校） 「感染症下における学級経営の諸対応」	昭和55年	○ P28



③ 安心できる子育て支援環境の整備

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
21	放課後子ども教室 推進事業	教育総務課	小学校において、放課後や週末に小学校や地域の公民館などを活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設けるとともに、地域の方々の参画を得て、子どもたちと地域住民との交流活動の取り組みを実施することで、心豊かな育成環境づくりの推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>金山地区 <ul style="list-style-type: none"> <li>テニス教室 12回 182人</li> <li>そろばん教室 8回 108人</li> <li>ボール運動教室 3回 57人</li> <li>パステルアート教室 2回 15人</li> <li>集団宿泊体験学習 1回 15人</li> <li>お菓子、料理教室 1回 22人</li> <li>華道教室 1回 5人</li> <li>栽培・収穫体験教室 1回 5人</li> <li>島巡り教室 1回 5人</li> <li>防災キャンプ 1回 10人</li> </ul> </li> <li>西庄地区 <ul style="list-style-type: none"> <li>自主学習 15回 50人</li> <li>ボール運動教室 18回 160人</li> </ul> </li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染症対策により、4月・5月の行事は中止。</p>	H21年度	
22	放課後児童健全育成事業（仲よし教室・みのり教室）	教育総務課	小学校に就学している1年生から6年生までのうち、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等に適切な遊び・生活の場を提供することにより、児童の健全な育成と子育て支援の充実を図る。	<p>昭和48年度に旧西部小学校に設置して以来、順次、設置校を拡大し、18教室を開室している。</p> <p>令和2年度に行った環境整備の主なものとして、川津小学校仲よし教室Bにおいて空調機取替工事を実施した。</p> <p>4月、5月に新型コロナウイルス感染症対策により学校が臨時休業となったが、仲よし教室は長期休業期間と同様の体制（午前8時～午後6時）で開室した。なお、予定より長時間子どもを預けた場合の追加の利用料は、保護者に負担を求めている。</p>	S48年度	○ P29

④ 魅力ある学校施設の整備充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
23	学校給食センター整備運営事業	教育総務課	本市の新しい学校給食の拠点施設として、衛生管理基準を満たし、安全・安心でおいしく栄養バランスを考慮した学校給食の提供や食育の推進を図るために学校給食センターを建設する。	民間事業者を活用した事業として実施するため、PFI法に基づき、事業者を選定し契約を行った。アドバイザー契約の終了に伴い、本事業を支援・調整するモニタリング契約を行い、円滑かつ的確に事業を進めた。	H29年度	
24	小・中学校施設整備事業	教育総務課	学校施設は、日常において子どもや教職員の生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割を担う。構造体の耐震化が完了した現在は、非構造部材の耐震化を進めるとともに、プールの改修、便所改修など、教育環境の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内運動場非構造部材耐震化工事 (金山小, 川津小) 27,885千円</li> <li>・プール改修工事(西庄小) 26,388千円</li> <li>・屋内運動場便所改修工事 (林田小, 加茂小) 13,695千円</li> <li>・天井等補修工事(白峰中) 45,422千円</li> <li>・屋内運動場便所改修工事 (坂出中, 白峰中) 15,637千円</li> </ul>	-	
25	教育用ICT環境整備事業	教育総務課	一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内通信ネットワークの整備 122,100,000円 国の公立学校情報通信ネットワーク環境整備費補助金を活用し、小中学校の校内LANの更新や電源キャビネットの新設を行った。</li> <li>・児童・生徒一人一台端末の整備 186,010,000円 公立学校情報機器整備費補助金を活用し、児童・生徒一人一台端末を整備した。授業を担当する教師の一人一台整備や授業支援・学習支援ソフトの導入もあわせて整備した。</li> </ul>	R元年度	○ P29
26	学校再編整備事業	教育総務課	次代を担う子ども達の教育効果を第一に考え、最適規模の学習集団を編成し、学校が学校として最大限の機能を発揮できる教育環境整備を図る。	令和元年度から委託していた長寿命化計画策定業務が終了し、学校施設の長寿命化計画を策定した。 今後は、この長寿命化計画や児童・生徒数の動向を踏まえ、再編整備の検討を進めていく。	-	

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
27	女性セミナー（オンライン含む）	生涯学習課	高齢化社会を迎え、長い人生を自分らしく豊かに、いかに生きるかについて、楽しく学習していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Zoom」の使い方の講習など</li> <li>・オンライン準備講座 1 11名</li> <li>・オンラインお茶会 10名</li> <li>・オンライン準備講座 2 30名</li> <li>・オンライン茶話会 18名</li> <li>・「今を生きることについて」 32名</li> <li>・「ズームツアー～トルコ “カッパドキア” と繋がろう～」 38名</li> <li>・「たっぷり笑って少し考えて～言葉の重み～」 113名</li> <li>・オンラインライブ 51名</li> <li>・「讃岐の英雄・細川頼之と白峰合戦！」 41名</li> <li>・「ズームツアー～トルコ “カッパドキア” と繋がろう～」 48名</li> <li>・「笑いで福がやってくる」 5名</li> <li>・「ズームツアー～トルコ “カッパドキア” と繋がろう～」 22名</li> <li>・オンラインライブ 16名</li> <li>・「カッパドキアズームセミナー」 57名</li> <li>・「笑いで福がやってくる」 69名</li> <li>・マジックショー 67名</li> </ul> <p>※合計17回 628名</p>	-	○ P30

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
28	中央公民館市民講座	生涯学習課	市民に対し生涯学習の充実と学ぶ喜びの享受	後期講座 (定員を減らした上、感染予防策を講じて実施) ・つるとラタンのバスケットリー 65名 ・漢字書道 117名 ・リトミック 65名 ・山野草 78名 ・陶芸 95名 ・男性料理 79名 ・女性料理 140名 ・太極拳 53名 ・絵手紙 185名 ・げんだい書 167名 ・パソコン 91名 全11講座 1,135名 ※前期講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	昭和42年度	
29	働く女性の家講座	生涯学習課	働く女性を対象に、女性のたしなみと教養など資質の向上を図る。	後期講座 (定員を減らした上、感染予防策を講じて実施) ・英会話 93名 ・健康美 143名 ・やさしいヨガ 122名 ・ちぎり絵 94名 ・スローエクササイズ 161名 ・カントリークラフト 115名 ・初心者の手編み 99名 ・フラダンス 78名 ・煎茶と礼法 28名 ・着装とマナー 45名 全10講座 978名 ※前期講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	昭和52年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
30	生涯学習フェスタ	生涯学習課	生涯学習活動をされている団体の発表・展示の場を設けることにより、生涯学習の一層の振興に資し、まちづくり、人づくりを進める。	中央公民館と勤労福祉センターを会場に「生涯学習の発表の場」として、公民館講座（地区館も含む）や働く女性の家講座、公民館や勤労福祉センターなどで活動している自主グループの方の発表・展示および体験教室を行うなど、本市生涯学習の推進を図る。  令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	平成28年度	
31	交流の里 おうごし	生涯学習課	旧王越小学校を、主に青少年や社会教育団体を対象とした宿泊型野外活動施設として平成29年度より開設し、王越地区のにぎわいづくりや地域交流の場として交流人口の増加を図る。	平成27年度に基本・実施設計を、平成28年度には改修工事を行い平成29年度に開設した。平成30年度においては、要望の出ていた宿泊室へのエアコンの設置を行った。  利用者数 1,476人	平成29年度	
32	親子向け・子ども向け講座	生涯学習課	土曜日（休日）の過ごし方の一つとして、子どもたち（親子）の学習の場、および、ともに汗を流す場を提供する。他の学校へ通う子どもたちとの出会いもあり、学校とはまた違う体験ができ、新たなものへの知識欲、人への思いやり、郷土愛など身につけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さかいでっこ探けん隊 計11回（356名）</li> <li>・手作り工作系 5回（115名）</li> <li>・体験学習系 3回（124名）</li> <li>・運動系 3回（117名）</li> <li>●さかいでっこガイド隊 中止</li> <li>●チャレンジ！ニューススポーツ講座 中止</li> <li>●学ぶ！未来のトンボ学校 計1回 35名 内容（ピザ作り、竹で花瓶作り）</li> <li>●自然観察会 中止</li> <li>●SOMPOボールゲームフェスタin坂出 中止</li> </ul>	平成15年度	
33	人権学習講座	生涯学習課	人間の尊厳と人権の確立をめざして、家庭・学校教育をはじめとするいろいろな分野での人権問題を解決する手立てを学習する。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-	

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
34	坂出市成人式	生涯学習課	大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ますとともに、青年が社会のために尽くそうとする考えを持ってもらうとの趣旨から成人式を行なう。	<p>令和3年の成人式については、新型コロナウイルスの影響に伴い、適切な感染予防策を講じ坂出市立体育館にて式典のみ開催する。幼少期からのスライド映像を上映後、式典では、市長・議長からのお祝いのことば、記念品紹介、成人のことばなどを行なう。</p> <p>※成人式までに、各地区からの新成人代表12名は7月より毎月1回程度会を開き、成人式の内容等について話し合う。</p> <p>参加者数 389名（男性202名、女性187名）</p>	昭和25年度	○ P30
35	婦人団体育成	生涯学習課	婦人団体連絡協議会は、女性の教養を高め、生活の刷新を図るとともに、地域社会の発展と福祉を増進することに努め、あわせて会員相互の親睦を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地区における子どもやお年寄りの見守り</li> <li>・ 日赤・防災活動</li> <li>・ 市の行事の手伝い</li> <li>・ その他数多くのボランティア活動</li> </ul> <p>10団体 会員数4,262名</p> <p>※生活文化展および地区敬老会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	-	
36	子ども会育成	生涯学習課	少子化や地域社会のつながりの希薄化のなか、子ども会行事を通じて、地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶなど、楽しい子ども会行事を通じて、地域に愛着をもち、誇りに思う子どもの育成を行う。	<p>地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ場を提供するとともに、地域の伝統行事などに子ども会活動を通じて参加する。</p> <p>ゆめ活動委託料・花いっぱい運動委託料・市子連活動補助金・地区子ども会活動補助金</p> <p>39団体 会員数1,107名</p>	-	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
37	青色パトロール運行活動事業	生涯学習課	登下校中の子どもが被害に遭う犯罪の抑止に努めるとともに、地域の安全・防犯意識の向上を図り、地域ぐるみで安全・安心なまちづくりを推進することを目的とする。	本市では、少年育成センター公用車による青色防犯パトロールを毎日、午前・午後の2回実施しているほか、市内7団体の自主防犯団体が地域で行う青色防犯パトロール運行活動事業について補助金を交付することにより、安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を図っている。また、青色防犯パトロール団体情報交換会を開催することで、パトロール活動についての理解を深めるとともに、意見交換を行って情報や課題の共有に努めている。	平成21年度 (補助制度創設)	○ P31
38	地域育成活動事業	生涯学習課	地域における健全育成と団体の育成に努める	市内11地区の青少年健全育成町民会議が実施する非行防止・広報啓発・環境浄化活動や地域で進める子ども体験活動に対して助成することにより、各地区の町民会議が実施する事業活動との連携を強化して、地域における「みんなで子どもを育てる」育成活動の充実を図った。	平成13年度	

③ スポーツの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
39	市内三校高等学校 野球定期戦大会	生涯学習課	青少年たちの持つ無限の可能性と協調の精神を養い、野球スポーツを計画的・継続的に実践し、それによって青少年の健全育成と体力の向上に努める。	市内の高等学校3校（坂出高校・坂出商業高校・坂出工業高校）による硬式野球リーグ戦を実施する。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	昭和27年度	
40	総合型地域スポーツ クラブ支援事業	生涯学習課	国のスポーツ振興基本計画に沿った、生涯スポーツ社会の実現を図るため、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する総合型地域スポーツクラブの支援を行う。	アウトドアスポーツとして、「ナイトハイク」や「里山ハイキング」等の「ウォーキング」を中心とした行事、また、インドアスポーツとしてカローリングやスラックライン教室、アジャタ大会等を行っている。  令和2年度6月より月2回の「みんなで健幸ウォーキング」を始めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためアジャタ大会やラジオ体操大会など中止となる中、7つの行事を行い528人の参加があった。	平成21年度	
41	ラジオ体操普及推 進事業	生涯学習課	いつでも・どこでも・誰でもができるラジオ体操を普及推進し、市民の健康増進や、地域間交流及び家族間交流の促進を図る。	・市役所本庁舎、合同庁舎、教育会館の始業前のラジオ体操放送 ・各地域に拠点となるラジオ体操広場を設置し、毎朝6時30分からラジオ体操放送  7ヶ所にて実施  令和2年度の地区巡回の「坂出市ラジオ体操大会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	平成25年度	



No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
42	カヌーのまちさかいで推進事業	生涯学習課	<p>カヌー競技の普及、競技力の向上や、スポーツへの関心を高めることによる生涯スポーツの推進、地元からのオリンピック選手の輩出を目指す。</p> <p>また、2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の準備に取り組む中で、府中湖カヌー競技場を世界に向け発信し、本市の活性化やにぎわい創出に繋げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技の普及と競技力向上</li> <li>・令和3年度に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック事前合宿に向けた準備</li> <li>・府中湖カヌー競技場の整備、決勝審判台塗装工事、気象センサーの設置</li> <li>・カヌースプリント・パラカヌー海外派遣選手選考会などの開催</li> </ul>	平成27年度	
43	ふるさと坂出スポーツ大会	生涯学習課	<p>四半世紀に渡り開催してきた瀬戸大橋駅伝競走大会に替わる事業として、市民の健康づくりと生涯スポーツの普及を目指し、地域における体育活動の活性化とスポーツ・レクリエーションでだれもが明るく豊かで活力のあるふるさとづくりを行うことを目的に開催。</p>	<p>各地区でチームを構成し、競技成績により順位・得点を付ける得点競技と、いくつかの行事への参加人数等によって、地区毎に得点を加算する参加点競技により総合得点を競う。</p> <p>得点競技 アジャタ、地区対抗レクリエーション 参加点競技 ラジオ体操、老人クラブスポーツ大会</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p>	平成28年度	

## VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

### ① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
44	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	築年数の経過に伴い老朽化が進んでいる図書館を安全、安心して利用できることを最優先に改修を行い、施設全体の維持管理、利用環境の整備を行う。	図書館駐車場等整備工事ほか施設改修工事 キュービクル改修工事 3,795,000円 PCB検査 385,000円 PCB処分料 124,465円	昭和54年度	○ P32
45	資料収集・情報提供事業	文化振興課 図書館	いつでも、どこでも、誰でもが、暮らしに役立つ様々な情報提供サービスを受けられるように努める。本と人、人と人が出会うことで地域のコミュニティの活性化を図り、本を仲立ちにした子育て支援やまちづくりを推進する。	地域の情報拠点として、多様な市民の要求に応えられるように図書、記録、その他必要な資料を収集し、整理し、保存に努める。特に地域資料や行政資料に関しては、郷土資料として積極的に収集し、永年保存する。 また、様々な機関と連携して幅広い情報提供を行う特集コーナーを設けるなど、地域の課題解決に役立つ資料展示を行う。	昭和54年度	
46	広報・啓発事業	文化振興課 図書館	図書館の利用と読書活動の啓発を促すため広報活動を行う。	パネル展示や企画行事を開催し読書機会の創出に努め、読書啓発活動を行う。新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミやホームページを活用するなど様々な方法により情報提供を行う。 秋の読書週間 講演会 参加人員 24人 「録音の会」 参加人員 76人 「一箱おすすり本展」「ものがたりの中のせとうち」 「教科書展示」「メディア化された本展」「きっと見つかる君だけの名作」「」他毎月展示を行う。 広報さかいで、KBN、FMサン、図書館報、HPにより行事等の情報を発信。	昭和54年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
47	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	すべての子どもが、いつでも、どこでも本と接することができる環境整備を行う。子ども行事や講師を派遣する出前授業を開催し読書機会の提供に努める。子どもの成長に関わる、様々な人や組織が連携して読書活動の推進に努める。	<p>坂出市子ども読書活動推進計画（第3次）に基づき、学校や関連部局と連携しながら子どもの読書機会の提供、保護者への啓発活動を行う。ボランティアと連携して行事を開催すると共に、ボランティアの資質向上のための育成講座を行う。</p> <p>「ブックスタート」 参加人員253人 絵本贈呈率100% 「紙芝居の会」 参加人員128人 「わらべうたであそぼう」 参加人員172人 「としょかんカンガルータイム」 参加人員198人 「天体観察会」 参加人員127人 「外国語絵本よみきかせ」 参加人員119人</p> <p>児童書年間貸出数 R2年度 168,804冊 数値目標 200,000冊</p>	平成18年度	○ P32
48	市民美術館企画展事業	文化振興課 市民美術館	市民に質の高い芸術・文化に触れ合う機会を提供するとともに、いろいろな展覧会事業を通して、市民一人ひとりが豊かな創造力や感性を育み、心にゆとりと潤いを持ち、特色ある地域文化の創造が図れるよう、芸術文化の振興に努める。	<p>本年は「オリンピックイヤー」「美術館の開館35周年記念」市民ボランティア美術館ファミリーの発足5周年」になることから、この3件を柱にした企画を組んでいた。春の聖火リレー期間中は「歴代オリンピックポスター展」ボランティアと市民参加による「緑のカーテン・ゴーヤナーレ」開館35周年記念として「坂出ゆかりの作家によるアートシンポジウム」をそれぞれ計画した。しかしコロナ禍により4月20日から臨時休館によって企画の中止や縮小、会期変更など1年間にその影響が及んだ。継続事業としての「フォトコン、書道、現代童画、障がい者アート、現代仏像彫刻」は最小限の企画変更で実施した。</p>	昭和61年度	○ P33
49	万葉企画事業	文化振興課	万葉集にも詠われた沙弥島を舞台に、柿本人麻呂が過ごした時代に思いをはせ、万葉の島である沙弥島に親しんでいただく。また、特色ある地域文化の保存、継承に努める。	<p>氷室だしという氷水で抽出した冷茶による「万葉茶会」や、伝統文化の人形浄瑠璃公演を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月23日 第33回狭岑島万葉茶会（100人）</li> <li>・11月12日 「True Life」（33人）</li> </ul>		

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
50	坂出歴史文化講座 (レキブンコウ)	文化振興課	本市に関わる歴史・文化・芸術方面にわたって学んでもらう講座を行い、古き良き坂出を知ってもらう。	近年の戦国ブームに合わせて本市ゆかりの戦国武将仙石秀久に着目し、戦国時代の甲冑を手作りする講座をZOOMを使って開催した。講座終了後は受講生らによる九州征伐出陣の様子を再現する戦国イベントを開催したり、香川県立ミュージアムにおいて1カ月間作品展示会を開催したりして本市の隠れた歴史をPRした。また、坂出の年中行事について参加者と対話型で行う講座や四国遍路の成り立ちについての講演を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月28日, 7月5日「甲冑講座①兜編」(39人)</li> <li>・8月9日, 30日「甲冑講座②鎧編」(36人)</li> <li>・11月1日, 8日「甲冑講座③小具足編」(32人)</li> <li>・11月28日「さかいでセンゴク歴史絵巻」(40人)</li> <li>・1月2日～31日「甲冑講座第三期生作品展示会」(33人)(観覧者500人以上)</li> <li>・1月30日「みんなで語ろう坂出の年中行事」(10人)</li> <li>・2月14日「四国からへんろ前史ー他(所)火から旅へー」(25人)</li> </ul>	平成25年度	
51	文化芸術事業	文化振興課	万葉会館, ふれあい会館等の文化施設を活用しながら, 市民の方々が文化芸術に親しむことができる機会の創出に努め, 文化振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月13日, 21日, 10月4日「オンライン舞台芸術ワークショップ」ダンス(56人), 台本読み(41人), 殺陣(44人)</li> <li>・10月17日「村山岳サロニリサイタル」(38人)</li> <li>・2月13日「福王寺一彦アート講座」(11人)</li> <li>・2月27日「ひついし福王寺・夢・アートスタジオ見学会」(10人)</li> </ul>	平成26年度	○ P33
52	市民ホール改修事業	文化振興課	休館中の市民ホールについて, 令和2年度と3年度の2ヵ年度で改修工事を実施し, できるだけ早期の再開を目指す。	<b>【実施設計】</b> 設計図, 設計書, 仕様書, 工程表などの作成。 <b>【浸水対策工事】</b> ホワイエ及び第3楽屋床面と地下配管ピット内の地下水浸水対策など。 <b>【改修工事(建築工事)】</b> 特定天井及び舞台天井耐震改修, 舞台床及び舞台機構改修, ホワイエ及び客席床面改修など。 <b>【改修工事に伴う電気設備工事】</b> 舞台照明設備更新, 高圧受電設備更新, 非常灯誘導灯設備更新など。 <b>【改修工事に伴う機械設備工事】</b> 空調用蓄熱装置更新, トイレ洋式化・多機能化, 給水管更新など。	平成31年度	

② 文化財の保護

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
53	塩業資料館児童校外学習見学事業	文化振興課	坂出の歴史に深く関わった塩田や久米通賢について学んでもらうため、市内の公立小学3,4年生等を対象に、塩業資料館の学習見学を実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外学習（いの町立伊野中学校ほか2校 154人） 毎年市内の小学3・4年生等を対象に塩業資料館の学習見学を実施していたが、コロナ禍により市内小学生の参加はなかった。市外の学校3校から約150人が修学旅行や遠足として訪れ、塩業資料館の学習見学と塩の実験を体験していただいた。</li> <li>・ソラボ「塩を使ってシャーベットを作ってみよう」8月2日（11人） 塩を使って電気を使わずにシャーベットを作る実験などで塩の性質を学ぶ講座を行い、塩業資料館の周知に努めた。</li> </ul>	平成25年度	
54	坂出市内遺跡発掘調査事業	文化振興課	坂出市内における遺跡の踏査、土木工事などに先立つ試掘調査および遺跡の範囲確認調査、また工事の際における現場での立会などを行い、貴重な埋蔵文化財を保護する。	<p>土木工事や民間施設の建設工事等に先立ち、工事立会、確認調査を実施し、埋蔵文化財の保護を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護法第93条関係 1件</li> <li>・文化財保護法第97条関係 6件</li> </ul> <p>周知の埋蔵文化財包蔵地の近接地にて工事立会を実施した結果、遺跡を認め、発見届を提出して今後の保護を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護法第93条関係 1件</li> </ul>	平成3年度	
55	讃岐国府跡探索事業	文化振興課	平成25年2月に府中町本村地区に讃岐国府跡の所在が確定されたことから、調査指導専門委員会を開催し、具体的に調査内容等の検討を進め、国の史跡指定を目指す。また、保存活用検討会議を開催し、今後の讃岐国府跡の保存、活用方法を検討する。	<p>令和2年3月10日付け官報告示により讃岐国府跡が史跡に指定。同年7月22日には坂出市が管理団体に指定。</p> <p>【讃岐国府跡保存活用検討会】 国指定史跡となった讃岐国府跡の保存活用計画を策定するため、発掘調査内容や成果の専門的な検討を行った（7月13日、11月30日、1月18日）。</p> <p>【讃岐国府跡調査指導専門委員会】 讃岐国府跡と開法寺跡発掘調査区域の検討（7月28日）。例年調査の後半に入ると、調査の経過報告と今後の方向性の確認のために委員会を開催していたが、コロナ感染拡大の懸念により中止（保存活用検討会よりも、県外委員が多い）。個別に現地視察を依頼するに至った。</p>	平成26年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
56	文化財保護管理活用事業	文化振興課	坂出市内にある指定文化財周辺の管理（主に除草）を実施すること。また、市内の文化財所有者や保護団体に、保存、管理、活用に必要な費用を補助することを通じ、貴重な文化財の保護活用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定文化財等周辺の除草、剪定</li> <li>指定文化財の保存、管理、活用に対する補助</li> <li>1月27日 文化財保護審議会開催</li> <li>文化財関係書籍作成事業（印刷業務）</li> <li>久米通賢関係資料修復事業（器物修復）</li> </ul>	昭和56年度	
57	開法寺跡発掘調査事業、遺物整理事業	文化振興課	平成25年2月に府中町本村地区に讃岐国府跡の所在が確定し、讃岐国府跡との関係で重要遺跡である開法寺跡について、昭和45年から平成19年度までの調査により出土した遺物整理を進め、平成28年度からは開法寺跡の発掘調査をおこない、国指定史跡への追加指定を目指す。	<p>讃岐国府跡の重要地区である開法寺跡において、伽藍配置の特定や讃岐国府跡との繋がりと言った課題を解決するため、過年度調査で出土した遺物を整理・分析し、開法寺跡の発掘調査を実施した。</p> <p>元年度の発掘において、開法寺の中央建物の存在を裏付けられる複数の土坑が確認された。</p> <p>令和2年度発掘調査面積 約290㎡</p>	平成26年度	○ P34

# 評価対象事業

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

② 豊かな心の育成

No	事業名	担当課	事業評価		今後の方向性	
3	問題行動への対策 (人格形成と規範意識の涵養)	学校教育課	自己評価	令和2年度の市内小中学校の全児童生徒における不登校生の割合は、小学校0.31%(昨年度0.31%)、中学校3.03%(昨年度2.72%)で、中学校で前年度よりやや増加した。虐待に関する相談件数が増加しており、学校等での虐待の早期発見・早期対応、被害を受けた子どもの適切な保護等について、関係機関と連携した対応に努めている。暴力行為については、中学校において増加した。いじめについては積極的認知を推進しており、認知件数は昨年度より小学校で増加した。いじめ、暴力行為ともに重大な事案はなかった。新型コロナウイルス感染症の長期化により、生活の変化や心身の影響等、きめ細やかな状況把握が必要と考える。	B	充実
			委員評価	成果としては十分達成されている。増加しつつある虐待事案やコロナ禍の中で子どもたちの心のケアが課題であるとの自己評価を尊重してB評価とする。	B	

⑥ 幼児教育の充実

No	事業名	担当課	事業評価		今後の方向性	
13	子ども発達支援事業 (5歳児健康診査・巡回相談・幼保こ小校區別連絡会)	こども課	自己評価	令和元年度より訪問による健診に、ルンビニ幼稚園が加わったことで、市内全幼稚園・こども園・保育所で健診できるようになった。令和2年度は、コロナ禍の中、状況を見ながら実施の判断をして感染防止の徹底をしながら健診をした。また、市内在住者で未受診の幼児が6名となり平成30年度から比較すると11名減少した。更に、訪問健診では100%の目標が達成できた。回を重ねてきた幼保こ小校區別連絡会や巡回相談の充実も図っていきながら取り組んできた。	A	継続
			委員評価	100%に近い受診率の達成や、全ての園で健診ができるようになった点が評価できる。	A	



#### IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

##### ① 保護者・地域に開かれた学校づくり

No	事業名	担当課	事業評価		今後の方向性	
18	学校運営協議会設置事業	学校教育課	自己評価	<p>学校運営協議会設置2年目の令和2年度は、組織体制を整え、さらに委員の声を反映した取組を期待していたが、コロナ禍により学校の一斉休校や感染防止の視点から各種活動が制約され、計画的な実践とならなかった。</p> <p>目標値である学校運営協議会年間開催回数3回以上を達成した協議会は8協議会(全体の57%)であった。学校運営の基本方針の承認と年度末の学校評価の公表については、各運営協議会において実施できていた。運営協議会や地域学校協働活動に対する取組については、「学校は保護者や地域と協力して学校の教育活動が行われているか」などを質問とする学校評価に対して、コロナ禍の中でも肯定的な回答を得ている学校が多くみられており、保護者や地域住民の本事業への参画意識を持っていることがうかがえる。</p>	B	<p>これまでの取組から、学校運営協議会制度やその役割の理解不足、地域学校支援ボランティアの発展としての地域学校協働活動になっていること、学校中心の運営となり学校(教頭)に負担が多くかかることなどが課題として挙げられる。そこで、委員の学校運営への参画意識の高揚、地域学校協働活動の組織的運営のための推進員の活躍、学校運営協議会や地域学校協働活動の情報発信による理解促進に努めていきたい。</p>
			委員評価	<p>自己評価にあったように課題がある。学校によって運営方法が異なっているように感じる。実践事例集の公開によって、他校の運営を参考にしてより一層の充実を図ってほしい。</p>	B	

##### ② 教職員の資質向上のための研修の充実

No	事業名	担当課	事業評価		今後の方向性	
20	教育研究所の研究・研修事業 (信頼される学校づくり)	学校教育課	自己評価	<p>喫緊の教育課題を積極的に取り上げ、教員一人一人の資質能力の向上を図る視点から研究内容が工夫されている。特に学校教育課題部会では、小学校新学習指導要領全面実施における課題であったプログラミング教育やICTの効果的活用について実践研究に取り組んだ。4部会の研究は、研究紀要にまとめ、市内全教員に配布した。コロナ禍における研究と実践の工夫が見られ、教育研究所所員のみならず、市内全小中学校の教職員の指導力向上に大きく寄与しており、その成果は高く評価できる。</p>	A	<p>統廃合</p> <p>各部会において教育課題を的確にとらえ、よりよい教育活動と教職員の資質向上のために理論と実践を行う。特に、学校教育課題部会では昨年度の研究を継続し、「GIGAスクール構想」実現のために坂出市内公立小中学校に整備された児童・生徒一人1台タブレットPCの効果的な活用と様々な場面でのオンライン授業の実現をめざした研究に取り組んでいく。</p>
			委員評価	<p>若年教員研修会やICTの研修会について高く評価する。4つに分かれている事業の整理統合を行ってはどうか。</p>	A	

#### IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

##### ③ 安心できる子育て支援環境の整備

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
22	放課後児童健全育成事業 (仲よし教室・みのり教室)	教育総務課	自己評価	新型コロナウイルス感染症対策の補助金を活用し、マスクや消毒液等の衛生用品の購入や手洗い蛇口の自動水栓化、床の抗菌化などの環境整備等を実施した。また、運営について民間委託を行ったことにより、臨時休業期間中の1日開室に対応し、事業の継続が図れた。	A	継続	民間委託の運営について、支援員等が、日頃の業務を振り返る機会を適宜設け、そこで得た問題を職員研修の課題として取り上げ、より良い運営に繋がるよう業務改善に努める。 また、運営業務の自己評価及び改善点の取り組みに関して報告書を作成し市ホームページで公表する。
			委員評価	業務委託と人的配置がスムーズに行われ、コロナ禍の中、安心して子育て支援ができる環境整備ができていたのでS評価とする。	S		

##### ④ 魅力ある学校施設の整備充実

25	教育用ICT環境整備事業	教育総務課	自己評価	文部科学省の教育のICT化に向けた環境整備5か年計画で進めていた計画を新型コロナウイルス感染症対策の補助金を活用し、一人一台端末の整備と高速大容量通信のネットワーク環境を前倒しで整備した。	A	充実	授業で使用する ICT 機器の操作補助や教材作成補助を行うICT支援員の継続的な配置を目指す。また、5か年計画のうちの統合型校務支援システムの整備に着手しており、3年度から本格運用を開始する。
			委員評価	5か年計画で進めていた児童生徒一人一台端末の整備を前倒しで達成したこと、また、教員にも一人一台整備できたことを高く評価する。	S		

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	事業評価		今後の方向性		
27	女性セミナー（オンラインを含む）	生涯学習課	自己評価	女性セミナーについては、これまで勤労福祉センターやふれあい会館にて講演等を行ってきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、人数を制限し少人数で実施せざるを得なくなった。そこで、会場に来られない方のために自宅のパソコンやスマートフォンと繋ぎ、オンラインで講演会やツアーに参加いただく試みを行った。参加者の多くが高齢の方のため、オンラインの勉強会を設け使い方に慣れていただき、講演会等に参加いただけるよう努めた。また、海外からの配信を通じて現地の名所や文化を知るトルコの Cappadocia ツアーは大変好評を得た。	A	検討	令和3年度も引き続きオンラインを活用したセミナー、ツアー等を実施し、多くの方に参加いただけるよう努める。また、令和2年度に中止となった現地学習も感染予防策を講じながら実施に向けて準備を進めていく。オンラインツアーに関しても、地域を広げて現地の名所や文化を知っていただけるようツアーガイドの方と連携を図っていく。
			委員評価	コロナ禍の中、参加者数が減少しているが、オンラインの活用や企画を工夫して実施できたことを評価する。男性のセミナーも検討してほしい。	A		

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	事業評価		今後の方向性		
34	坂出市成人式	生涯学習課	自己評価	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、式典については、主催を2名、来賓を4名にし、国歌は演奏に、記念品の贈呈は紹介のみとし、記念写真については、希望者のみで中学校別に撮影し、保護者については、2階席にて座席間隔をあけて観覧してもらった。また、感染症対策として、分散集合、分散退場、マスクの着用の徹底、問診票による体調管理等の把握、館内においても、座席の間隔をあげ、換気も行う等の適切な感染予防策を講じた。「はたちの祭典」についても「はたちの祭典企画運営委員会」にて協議を行い、中止の決定をした。なお、例年祭典にて上映していたスライドについては、受付から式典開始までの間、上映した。	A	継続	令和2年度は坂出市立体育館で実施したが、3年度については、坂出市民ホール（改修状況により）にて、開催する可能性がある。施設の収容人数を考慮すると一度に入場すると密になる可能性が高いので、校区を分散させて式典を2回行うなど引き続き感染予防策を講じながら実施していきたい。
			委員評価	感染症対策を講じて実施できたことを評価する。	A		

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性
37	青色防犯パトロール運行活動事業	生涯学習課	自己評価	<p>各地域の実施計画に基づき計画的にパトロール活動が実施されている。昨今、児童生徒の通学時間帯、通学路等での不審者事案が多く発生している。その情報をFAXや電話により、青色防犯パトロール団体の代表に迅速に発信することで素早く情報を共有し、重点パトロールに生かしている。また、「青色防犯パトロール団体情報交換会」を開催し、活動の意義や効果的なパトロール活動について研修を行い、地域のホットスポット（犯罪が起こりやすい場所）パトロールの考え方を共有するとともに、各地区の状況や活動の担い手づくりなどの課題についても広く意見交換を行った。「安全・安心なまちづくり」に向けての啓発効果や犯罪の抑止効果の向上につながった。</p>	A	継続
			委員評価	<p>不審者事案の内容が変わる中、地道なパトロール活動により、重大事案の件数を抑えた点を評価する。</p>	A	

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
44	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	自己評価	老朽化したキュービクルの改修を行い、安全な受電を行えるよう整備を行った。また新型コロナウイルス対策事業「図書館パワーアップ事業」として、便所の洋式化・手洗いの自動水栓化等の改修や移動図書館車の購入を実施した（令和3年度完了）	A	継続	利用者の安全，安心を最優先に考えた改修を計画的に行う。
			委員評価	長年の懸案であった移動図書館車を購入できた点を評価する。	S		
47	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	自己評価	令和2年度は4月～5月にかけて、新型コロナウイルスの影響により、休館・閲覧制限等で来館者数は減少したが、家庭で読書をして過ごしてもらえよう、展示の工夫や広報活動を行い、ほぼ同じ年間貸出数となった。講演会等が実施できなかったが、館内定例行事を継続し、絵本の紹介した冊子を作成することにより、今後の読書活動に繋げることができた。	A	継続	坂出市子ども読書活動推進計画に基づき、今後も市民協働で行事を開催を継続。子どもたちの読書への関心や意欲を高めるため、関連部局と連携し読書環境の充実に努めていく。
			委員評価	コロナ禍の中であっても例年と同じくらいの成果を上げている点を評価する。	S		

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
48	市民美術館企画展事業	文化振興課 市民美術館	自己評価	<p>コロナ禍のため、年間通しての通常運営ができない状況となった。 突然の企画変更や中止は、作品の提供者や県外協力者との信頼関係を心配したが、スムーズに通常の運営ができたことは大きい。 芸術活動とは、数字には算出できない信頼関係と互いの理解の上にあることを思い知る1年となった。</p>	B	継続	平成23年度より取り組んできた郷土の作家を掘り起こす事業が令和3年度で終了する。今後しばらくは、平成から令和への移行期間としての起案を模索する。
			委員評価	<p>コロナ禍の中、規模の縮小をしつつ、一定の成果をあげられている。</p>	B		
51	文化芸術の振興 「文化芸術事業」	文化振興課	自己評価	<p>新型コロナウイルスの影響で、例年開催している演劇事業はオンラインによるワークショップの開催とした。また美術館で、バス・バリトン歌手の村山岳氏を招いての音楽コンサートを開催し、音楽と絵画という異なるジャンルの芸術の融合を図るとともに、万葉会館では、人形浄瑠璃に音楽を組み合わせて、伝統文化を身近に感じられる公演を開催した。 さらに新規事業として、日本画家の福王寺一彦氏を招いて、アート講座、アートスタジオ見学会をそれぞれ開催し、市民が芸術作品を鑑賞しワークショップで芸術に触れる機会の創出を図った。</p>	A	継続	本市の文化施設を活用するとともに、本市とかかわりのある芸術家を招くことで、幅広い世代の方々に多様で良質な文化芸術に親しみやすい環境を創り出し、その機会を増やしていくことに努めていく。
			委員評価	<p>コロナ禍や市民ホール改修という状況の中、新規企画をたてて芸術に触れる機会を創出した点を評価する。</p>	A		

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

② 文化財の保護

No	事業名	担当課	事業評価			今後の方向性	
57	開法寺跡の遺物整理，発掘調査事業	文化振興課	自己評価	開法寺跡の中心伽藍を構成する重要施設を調査し，当時の様相の一端を把握することができた。また，本年度の現地説明会では昨年度に讃岐国府跡が国史跡に指定後，コロナ禍の影響による一般来場者数への減少が予想されたが，史上最多の来場者数を記録し，改めて事業への注目・関心の高さが再確認された。	A	継続	<p>今後は讃岐国府の重要地区の一つである開法寺跡を，既に国史跡に指定されている讃岐国府跡の追加指定として目指し，後世に残すべき重要遺跡として保存・活用を図っていく。また，その意見具申に必要な調査報告書を刊行するため，これまでの発掘調査成果をまとめ，調査研究を続けていく。</p>
			委員評価	目標数値よりかなり多くの参加者を得て説明会が開催され市民の高い関心に応えた点を高く評価する。	S		